



i n t e r v i e w

型技術者会議 2011 実行委員長/型技術協会 副会長
マツダ(株) 取締役専務執行役員

型技術協会 編集委員長
(株)デンソー 生産技術開発部 型企画室 室長

小飼雅道氏 + 鬼頭秀仁氏

Masamichi Kogai

Hidehito Kito

鬼頭 6月21日(火)~22日(水)に開催される「第25回型技術者会議 2011」について、実行委員長である(株)マツダ取締役専務執行役員の小飼雅道さんにお話をうかがいます。

3月11日(金)に東日本大震災が起り、開催するべきかどうか随分と悩まれたのではないのでしょうか。開催を決断されたのはどのような理由からですか？
小飼 こういうたいへんな時期だからこそ開催するべきではないかと思いました。来ていただいた方には、例年どおり懇親会も楽しんでいただきたいと思います、川田会長からも「ぜひ開催してほしい」と言われました。

できれば、被災された方々にも参加していただき、皆様とコミュニケーションしていただく場になれば幸いという気持ちもあります。また、開催による収入の

今年の型技術者会議は 日本の型産業の 生き残り策を 徹底議論する!

一部は義援金にしたいと思っています。そうすることで、講演者と聴講者の方々も、「型技術者会議を開催することが、少しでも被災者の方々の助けになる」と前向きに参加していただけるの

ではないかと思っています。

開催は6月下旬ですから、その頃には復興の弾みもついていて、明るい気持ちで開催したいという願いもありました。

「型技術者の今後」がテーマ

鬼頭 今回の会議のテーマを教えてください。

小飼 「型技術者会議」と銘打つとおり、「型技術者」に焦点を当てた会議にしたいと考えました。自社を代表して参加するのではなく、まずは一人の型技術者と